

351 道路網・港湾整備の推進

(主担当部局：県土整備部)

35101	道路ネットワークの形成	(県土整備部)
35102	適切な道路の維持管理	(県土整備部)
35103	四日市港の機能充実	(雇用経済部)
35104	県管理港湾の機能充実	(県土整備部)

県民の皆さんとめざす姿

中部圏と近畿圏を結ぶ高速道路ネットワークが形成されるなど、県民の皆さんの生活や地域の経済活動を支える道路網や港湾の整備が進み、人と人、地域と地域が力強く結ばれ、県内外、海外との交流・連携を広げています。

平成27年度末での到達目標

道半ばにある道路網・港湾の現状に対し、県内外との交流・連携に資する道路整備や、大規模地震発生への備えや柔軟な対応など、地域の新たな課題や県民の皆さんの多様なニーズに的確に対応する道路・港湾の整備が進み、道路・港湾が担うべき機能を強化・充実することにより、利用者の安全性と利便性が向上しています。

県民指標						
目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
県民生活の利便性の向上や地域の経済活動等を支援する道路の新規供用延長		15.3km	60.6km		80.9km	94.9km
	0.3km	21.3km				
目標項目の説明と平成26年度目標値の考え方						
目標項目の説明	県内の高規格幹線道路や直轄国道、県管理道路の新規に供用した延長					
26年度目標値の考え方	北勢バイパス、中勢バイパス、国道260号錦峠、県道鈴鹿環状線磯山バイパス（I期）、県道津久居線半田バイパス等を新規供用することをめざし、目標値を設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
35101 道路ネットワークの形成(県土整備部)	県内の幹線道路の新規供用延長		10.3km	40.6km		52.9km	59.9km
		—	10.3km				

基本事業	目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
35102 適切な道路の維持管理(県土整備部)	舗装の維持管理指数		5.0以上	5.0以上		5.0以上	5.0以上
		5.3	5.3				
35103 四日市港の機能充実(雇用経済部)	四日市港における外貿コンテナ貨物の取扱量		20万TEU	22万TEU		24万TEU	26万TEU
		17万TEU	18.3万TEU				
35104 県管理港湾の機能充実(県土整備部)	県管理港湾の入港船舶総トン数		1,503万トン (23年度)	1,503万トン (24年度)		1,503万トン (25年度)	1,503万トン (26年度)
		1,503万トン (22年度)	1,475万トン (23年度)				

進捗状況（現状と課題）

- ・ 紀宝バイパス約1.6kmが6月に、第二伊勢道路約7.6kmや、熊野尾鷲道路(三木里～熊野大泊)約13.6kmおよびアクセスする県管理道路が9月に供用しました。また、地域と一体となった国などへの粘り強い働きかけにより、熊野大泊から新宮間については、地域の皆さんの声や学識経験者等の意見を踏まえ、平成25年4月に概ねのルートが決定されました。このうち、紀宝から新宮間については、新宮紀宝道路(熊野川河口大橋(仮称)含む)として、5月に新規事業化され、詳細なルートや構造を決定するための地質調査や測量などの現地調査に着手しました。さらに、未事業化区間(熊野大泊～紀宝)においても、今年度、道路調査費が確保され、地質調査や測量などの現地調査に入るなど、紀伊半島のミッシングリンクの解消に向け前進しました。
- ・ 県管理道路において、緊急輸送道路整備(橋梁耐震対策も含む)や道路防災対策を進めています。また、昨年度実施した通学路の合同点検の結果をふまえ、防護柵等の対策を実施しています。道半ばにある道路網の現状に対し、道路利用者が安全・安心に通行でき、県内外との交流・連携に資するとともに、大規模災害等に備えた道路整備をさらに推進する必要があります。
- ・ 式年遷宮に向け、外宮と内宮を結ぶ県道伊勢磯部線や伊勢と鳥羽を結ぶ国道42号の一部区間などについて舗装修繕を実施し、走行性や安全性の向上が図られました。また、老朽化する道路施設を適切に維持管理するために長寿命化修繕計画等に基づく道路施設の修繕や橋梁やトンネルなどの点検を推進しています。引き続き道路施設を適正に維持管理する必要があります。
- ・ 四日市港においては、臨港道路霞4号幹線について、天カ須賀工業団地地先や川越緑地公園内の橋梁下部工の工事が進められました。また、15号岸壁の耐震強化整備について、グランドアンカー工等の工事を進めたほか、海岸保全施設や上屋の耐震化等に取り組みました。背後圏産業の国際競争力強化を物流面から支えるため、臨港道路等施設の早期整備が必要です。
- ・ 港湾利用者や地域の安全・安心を向上させるために、津松阪港(大口地区)および宇治山田港において、老朽化した港湾施設の補修工事を進めています。また長島港の江ノ浦大橋について、耐震対策が必要であることから、詳細設計を進めています。港湾は、県民生活の安全・安心の確保および地域経済の活性化、発展に不可欠なものであることから、今後とも港湾施設を適切に整備、維持管理する必要があります。また、大規模地震発生時の輸送路を確保するため、臨港道路の橋梁について、耐震検討・対策が必要です。

県土整備部

- ・ 新名神高速道路、東海環状自動車道、北勢バイパス、中勢バイパス等の整備促進を図るとともに、これらと一体となった道路ネットワークの形成に向けた、県管理道路の計画的な整備を推進します。特に、平成 26 年度の供用開始予定となっている、北勢バイパス(四日市市内の一部)、中勢バイパス(津市内の一部)、国道 260 号錦峠等の整備促進を図るとともに、県管理道路の整備を推進します。また、紀伊半島のミッシングリンク解消に向け、「新たな命の道」として熊野尾鷲道路(Ⅱ期)および新宮紀宝道路の整備促進を図るとともに、未事業化区間(熊野大泊～紀宝)の早期事業化などを図ります。
- ・ 緊急輸送道路整備(橋梁耐震対策も含む)を、重点的かつ効率的に推進していくとともに、法面からの落石等の被害を未然に防止し、道路利用者の安全な通行を確保するために、路線の重要度や、変状の程度による優先度を考慮した道路防災対策を計画的に実施していきます。また、さらなる通学児童等の安全確保に向け、通学路の合同点検結果に基づき引き続き対策が必要な箇所において、早期の対策実施に努めるとともに、既存の道路等における歩行空間の整備等を進めていきます。
- ・ 道路施設が将来にわたって機能を充分発揮し、道路利用者の安全・安心を確保するため、緊急点検の早期完了に、重点的に取り組みます。また、緊急点検で確認した損傷箇所のうち、緊急に対応すべきものについて修繕を行います。さらに、トンネル、横断歩道橋については、予防保全的な観点で長寿命化計画の策定を進めるとともに、計画的な補修・補強に取り組みます。
- ・ 県管理港湾について、今後、港湾施設が求められる機能を満足するよう、必要な箇所の緊急修繕に着手するとともに、臨港道路の橋梁について、予防保全的な観点で長寿命化計画を策定し、適切に維持管理を実施していきます。また、物資輸送等の災害復興活動等に利用できるよう、臨港道路にある橋梁の耐震検討を進め、必要な箇所について耐震対策を実施していきます。

雇用経済部

- ・ 四日市港については、引き続き、臨港道路霞 4 号幹線の早期供用に向けて整備促進を図ります。また、耐震強化岸壁について平成 26 年度内の完成をめざすほか、海岸保全施設や上屋の耐震補強等を引き続き推進します。

主な事業

県土整備部

●直轄道路事業負担金【基本事業名：35101 道路ネットワークの形成】

予算額：(25) 13,859,000千円 → (26) 12,800,000千円

事業概要：国が行う道路事業に対して負担金を支出することにより、県内の幹線道路網の形成を促進します。

●道路改築事業【基本事業名：35101 道路ネットワークの形成】

予算額：(25) 14,389,065千円 → (26) 15,378,419千円

事業概要：地域高規格道路や幹線道路にアクセスする道路の整備に取り組み、県民生活の利便性、安全性の向上に寄与する道路ネットワークの構築を進めます。

●道路維持修繕事業【基本事業名：35102 適切な道路の維持管理】

予算額：(25) 7,027,268千円 → (26) 7,326,761千円

事業概要：道路施設の緊急点検の早期完了に取り組むとともに、緊急に対応すべきものについて修繕を行います。併せて、予防保全が必要な施設の長寿命化計画の策定を進めるとともに、計画的な補修、補強に取り組めます。

●港湾改修事業【基本事業名：35104 県管理港湾の機能充実】

予算額：(25) 320,800千円 → (26) 380,100千円

事業概要：港湾利用者が安全に利用できるよう、岸壁老朽化対策等を推進します。

雇用経済部

●四日市港振興事業【基本事業名：35103 四日市港の機能充実】

予算額：(25) 1,926,896千円 → (26) 1,931,180千円

事業概要：四日市港管理組合が行う岸壁の改良、護岸の改修および臨港道路の整備等の事業に対して負担金を支出することにより、背後圏産業を物流面から支える港づくりを促進します。